

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」白山松任校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 22日 ～ 2025年 12月 13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	73名	(回答者数) 40名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 22日 ～ 2025年 12月 13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室があって、それぞれの活動に集中できる空間となっている。	より静かな環境を望まれる利用者様に対しては2階の個室にご案内することもある。	感染症が流行している時期には空気の入れ替えなど感染症予防に気をつけていく。
2	小学校・中学校における登校特例（きらりの出席が学校の出席になること）が認められている。	学校側や、保護者様との連携をとり、支援でのご様子や、ご本人の変化・成長など、それぞれの機関に情報共有しながら支援を行っている。	引き続き安定した環境で不登校特例を利用されている利用者様の受け入れを行っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	キャンセル待ちが多い、新規の受け入れが難しい。	大変有難いことに、毎月たくさんのご利用希望を受ける中、以前から既にご利用いただいているご利用様と新規のご利用様の利用頻度の調整が難しい場合がある。	現状を踏まえ、ご利用までに至っていない多くのご利用希望者様が、ご利用を心待ちにされていることを上長へお伝えしている。
2	次のステップへの連携が難しい。	利用者や保護者の将来の選択肢を広げるため、フリースクール、通信制高校、夜間中学校、就労移行支援、就労継続支援A型・B型事業所、外部の親の会などを紹介・連携したい思いはあるが、職員がこれらの社会資源について十分に把握できておらず、具体的な提案につなげきれしていない。	地域の社会資源や進路・就労先に関する情報を整理し、職員間で共有する。外部機関との連携や情報交換を進める。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 「きらり」白山松任校

公表日 2026 年 1 月 24 日

利用児童数

73名

回収数

40名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	5			・体を動かす活動のスペースが狭いように感じる。 ・小ささまざまな部屋があり、用途に応じて使い分けができ良いと思う。	ご意見をいただきありがとうございます。現状の設備で、できる限りスペースを有効に活用できるよう工夫をしていきます。また、保護者様やお子様同士が衝突しないよう、常に職員が声かけ、配慮していきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36	2		2	・一対一でゆっくりじっくり対応していると感じていると思う。 ・全員の人数。一人あたり何人か分からない。 ・欠員の方の後任の方が決定されるというと思います。 ・人の入れ替わりがあった時など今現在誰がどのくらいの人数いるのか分からない。	現在は6名の指導員で支援を行っております。また、基準上必要な人員を満たしておりますのでご安心いただければと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	7		2	・区切られた個室である事で落ち着いて過ごせている様子です。 ・2階へ上がる階段は危ないと思う。 ・事務所に入ったことがないので設備は分からない。 ・個室なので集中しやすいのではないかと思います。	外階段利用の際は安全確保の観点から児童だけでの昇降にならないよう、できる限り指導員が付き添うように対応していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	3			・学習することをメインで通所しているので個室対応で話しやすい環境。他のお子さん達の活動が分からないので……。 ・いつも片付いていて、整理整頓され、清潔な空間になっている。	個室では職員とマンツーマンで利用できる分、落ち着いて細かな部分まで対応できているのか思います。清掃に関しては、毎日始業時に行っております。今後も清潔な環境を維持していけるよう努めていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39	1			・子どもの苦手な部分を見極め、伸ばしてくださっていると感じます。 ・荒れている子や不安定になっている子は見かけたことがないので安心した支援を受けられていると思う。 ・子供に合った学習・指導をしていただき感謝しております。	ありがとうございます。ご利用されているお子様の特性から、気持ちが乱れているお姿を見かけることも今後あるかもしれませんが、その際は指導員が、そのお子様に合わせできる限り臨機応変に対応できるよう心がけていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	1		4	・十分理解してくださり支援を受けています。	ありがとうございます。これからも継続して計画やお子様の様子に沿った内容の支援が提供できるよう心がけて参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39	1			・親の思いと子供の気持ちを考え、計画実施されていると思う。	ありがとうございます。今後も日々のフィードバックや面談にてお子様の成長を確認し、保護者様のニーズを伺いながら支援計画に反映できるよう努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	1		4	・以前「就労移行支援」も今後行えるように働きかけていると聞いたことがあるが、そのような方向で動く予定はあるのだろうか？ ・ガイドラインの内容がよくわかりませんが日々の支援には感謝しています。	クラ・ゼミ内ではアクセスジョブという就労移行支援事業所がありますが、現状石川県内では展開しておりません。厚生労働省より公表されております「放課後等デイサービスガイドライン」をもとにきらりでは支援を提供させていただいております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39			1	・それ以上のこともお願いしていると思います。いつもありがとうございます。	こちらこそ、いつもご利用ありがとうございます。引き続き計画に沿った内容で支援を行わせていただきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	5		2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	5	13	17	・活動することがないのでわからない。	地域の児童らとの交流を目的としたイベントなどは現在行われておりません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39	1				

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	7	3	16	・以前は家族支援研修等も参加させていただいていたが、最近はランダムな使い方をさせてもらっているのよくわからない。 ・研修会があるかないかわからない。	ご意見ありがとうございます。 現状、家族支援研修等は行っておりませんが、外部での研修会や情報提供はエントランスにある机上で紙面に提示させていただいております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	37	1		2	・丁寧なフィードバックで、日々の状況や気になる点などわかりやすく伝えて頂いています。 ・毎週お迎えの際には都度様子や状況をお話いただき、共通理解ができていますと思う。	ありがとうございます。 こちら、保護者様からのお話の中で、お子様に関しての気づきや理解、支援計画作成するにあたって必要な情報などを知ることができ感謝しております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	6	3		・面談についてはしばらく行われていないです。 ・以前は定期的に面談はあったが、最近がデイを使う回数も減っているので行っていない。	フィードバック内で相談いただいたことに関しては、職員間で話し合いを行い、お返事させていただけるようにしております。面談に関しまして、今後はより積極的に声がけさせていただこうと考えております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	1		2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	5	12	15	・以前は父母の会等の開催にも参加させていただいたが最近ランダムな使い方をさせていただいているのよくわからない。 ・兄弟がいなかったからわからない。 ・最近ありますか？（参加していないけどと思います）	皆様には大変ご不便をおかけしております。今年度に関しましては職員の入れ替わりなどの影響もあり、イベントの開催を見送らせていただきました。来年度は開催させていただく予定がありますので、また皆様ご参加いただければと思います。よろしく願いいたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	2		6		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	6	1	16	・ホームページを見ることが少ないのでわからない。 ・あるの？	きらり白山松任校のブログがございます。行事等が行われる場合はブログでも告知をさせていただきますので、また見ていただけると幸いです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2	1	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	4		10	・何度か避難訓練のお知らせのポスターが貼ってあるのは見かけたことがある。	きらり白山松任校では毎月避難訓練を行っております。3月・9月には利用者様も交えた避難訓練を行っております。今後ブログを通して、避難場所や避難時の対応などもお知らせさせていただきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33		1	6	・こどもが事務所から飛び出していったことがあったので、安全面が少し心配です。	ご心配をおかけし申し訳ありません。支援中や支援後も1歩先の場面を想定し、常に指導員が、対象のお子様から目を離さず、危険な場面が想定される場合にあらかじめ声をさせていただくなど、対応を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	3		8	・きらりに自転車で行き、転倒し、けがをした時などすぐに連絡をくださいます。助かります。	ありがとうございます。お子様にお怪我や緊急対応が必要な場合はすぐに保護者様にご連絡させていただきます。また現在、冬季期間中は、そのような事故やケガを未然に防ぐため、積雪時の自転車の利用は控えていただくなどの対応を行っています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	40				・社会的（人間関係）な面やコミュニケーション面で特性のある子ですが、いつも丁寧に関わってください、向き合っていてくれるおかげで、きらりさんに通所するのを楽しみにしています。親も色々な視点で子を見れるようになり助かっています。 ・職員の皆さんが優しく話しやすいため、安心して通所継続できています。先生方に信頼を寄せています。いつもありがとうございます。	ありがとうございます。こちら、保護者様とお話をさせていただく時間を大切に考えております。保護者様からのお話の中で、お子様に関しての気づきや、理解、支援計画作成するにあたって必要な情報などを知ることが出来ており感謝しております。これからは安心してお子様に利用して頂けるような雰囲気職員皆が大切に意識していきます。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	38	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも行くのを楽しみにしています。 ・学習することよりも職員さんとの会話を楽しみにしています。 ・勉強をできる場として使わせてもらっていますが先生と話をすることをとても楽しみにしている様子です。 ・学校とは違う取り組みもでき楽しく通っています。 	<p>ありがとうございます。放課後等デイサービスに通われる皆様のニーズから学習支援がメインとなっていることが多いですが、学習面以外の部分で心が発達していく大事な時期でもあります。そのため、指導員とマンツーマンでお話が出来る、信頼関係を築いていきやすいのも個別療育の強みであると考えております。これからも引き続き、お子様が楽しい、コミュニケーションをとりたいと思えるような雰囲気づくりを継続していきます。</p>
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	1	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ通い始めたばかりなので判断できません。 ・進学先に合わせた学習計画・支援をしてくださり満足しています。 ・いつも子供に寄り添って対応していただき本当にありがとうございます。 ・マンツーマン指導で寄り添った支援を 	<p>ありがとうございます。まだ通われて日が浅いご利用者様もいらっしゃると思いますが、お子様一人一人に合わせた支援を提供できるよう、こちらも日々試行錯誤しながら目の前のお子様と向き合っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		「きらり」白山松任校				公表日	2026 年 1 月 24 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・お子様の特性を配慮して個室とフロアを使い分け、支援する場所提供している。 ・個室数や支援スペースの数に合わせた定員を受け入れている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・適切な配置数を保っている。職員の人数に合わせ調節できている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		校舎が1・2階に分かれているので外階段での行き来となっている。天候が悪いと滑りやすいため、児童の移動の際は指導員と一緒にを行うなど工夫をしている。1階2階の情報伝達はインターフォンで行っている。	バリアフリー化はされていない。トイレの段差など改善する必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎朝の掃除と毎支援後の消毒を行っている。 ・毎日の清掃を怠らないように意識している。	定期的な清掃がされていない。エアコンや空気清浄機など月1回の清掃は必要である。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様の特性に合わせて個室とフロアを使用できるように対応している。	気持ちを落ち着かせられる指定の個別の部屋は設置されていないため、支援時、できる限り空いている個室などを利用して、落ち着ける場の提供をしていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		事業所内で話し合いを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1度の評価表に伴う話し合いを行い、その後改善できるところはしている。改善について話し合いの機会を設けている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見等を伝えやすい環境に変わった。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価はおこなっていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・市からの研修のお知らせ等を回覧し、把握・参加している。 ・法人内の研修は月3回以上行っている。 ・事業所外の社外研修にも参加している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		モニタリング、担当者会議など適切な過程を経て作成されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		児発管不在の期間があったため、作成できていない。	児童発達支援管理責任者が配置されたため、今後は児童発達支援管理責任者の元、支援計画を立て、実行していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・指導員と一緒に会議に参加している。 ・児発管不在の期間があったため、作成できていない。	児童発達支援管理責任者が配置されたため、今後は児童発達支援管理責任者の元、支援計画についての見直し、検討を行っていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画に沿って療育プログラムを作成し、支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		会社で標準化されているアセスメントツールを使用している。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域を意識し、個別支援計画を作成し、支援を行うプログラムを作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		児発管と担当指導員、他指導員がモニタリングを行い、プログラムを立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・ご利用者様の様子に合わせてながら、支援計画に沿った支援を毎時提供している。 ・定期的なモニタリングで様々な支援員の意見を取り入れることが出来ている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		今後、きらりひろば等の開催を計画に向けて話し合いを行っている。その中で集団活動が出来る機会を設けていく。	支援時間内において、他の児童と関わることもあるが、小集団イベントのような初めから集団での活動を想定した支援は行われていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前回支援の様子や児童の様子について確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼の他、次に支援に入る指導員に個別で引き継ぎを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		会社内のルールに則って記録を記載・保管している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		3か月～6か月に1回計画を見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		児童に合わせてバランスよく組み合わせ支援できるようにしている。	・4つの基本活動を把握しきれていない。 ・地域交流の機会は提供できていない。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分で予定や順番を決めたり、希望を取り入れながら支援している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が中心となって参加している。場合によっては指導員にも参加を頂いている。必要に応じて職員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携し、支援の体制を整えている。相談員さんを通じて支援を連携して行っている。	・学校などは連携がとれているが、福祉を専門とした機関との連携はあまりとれていない。 ・児発管不在の期間長かったため、この1年は開催できていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校公開週間での参観の他、必要な時に電話をしたり、個別に訪問させていただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて行っている。相談員からの情報をお聞きし職員に周知を行っている。	他事業所、園など直接的な連携はとれていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		今後そのようなことがあった場合は、相談員や各種関係機関も含めて連携を図っていききたい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		発達相談センターと連携し、必要な情報をお聞きしたり、講演会の案内があった際は参加するようにしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童館などとの交流は少ないが、きらりひろばで児童の兄弟姉妹児が参加するケースはあり、交流を図っている。	放課後児童クラブ、児童館との交流はできていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		市のこども部会へ参加をしており、意見交換を行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回フィードバックを行っている。家族等の参加が出来る研修の機会や情報提供等は、声かけや提示をしている。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			家族の方に対しての支援プログラムに関する情報の得る機会が少ないため、今後取り組んでいきたい。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧にお伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご利用者様やご家族の意見を尊重しながらサービスを提供している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明し、同意を得たうえでサインをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者様のご希望を受けて相談を受けたり、こちらから相談が必要と感じた保護者様にはお声をかけて相談をしている。 ・面談や日々の支援のフィードバック等で行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		父母の会の活動や集団イベントが開催できていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		上長や指導員と対応を相談し、その後保護者に説明を行っている。	迅速に対応はできているが、再発防止に向けての話し合いが不十分である。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月2回のブログを更新している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのロッカーで保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		直接フィードバックが難しい場合は、電話や報告書等で対応している。児童が知りたくない内容については離れた場所でのフィードバックや後日面談を行い対応することがある。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	イベントのちらしを地域に掲載してもらっている。	全ての保護者に周知できていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎月避難・防災訓練を行っている。 年に2回は児童・保護者参加の避難・防災訓練も行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月、訓練を行っており、年2回は児童、保護者様参加で行っている。月1回の防災訓練や年に2回以上の利用者を含めた訓練のほか安全計画研修がある。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		年に1回お聞きしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食物アレルギーの子どもがいないこと、食事ができないため対応していない。おやつ等の食事を提供していない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練等を行っている。社内研修でも安全計画・BCP研修に参加している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画についてはこういったものがあるということを契約時にご説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員間で共有し、事故への発展がないように周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		1年に1回行政主催の研修に参加し、事業所内でも研修を行っている。	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に必ず保護者様にお伝えしている。	
--	----	--	---	--	---------------------	--